

2017(H29).04.23

関東大会県予選の1回戦は75-5で太田一高に勝利！！





4月23日(日)午前10時、水戸農業高校グラウンドで、平成29年度第65回関東高等学校ラグビーフットボール大会茨城県予選の1回戦が行われ、日立一高は前半42-5、後半33-0、計75-5で太田一高を破り、2回戦進出を決めました。

快晴ながら、やや肌寒さを感じる絶好のコンディション。前半は風下でのスタートです。

開始早々の1分、ラックでのターンオーバーから一旦サイドを突いて左に展開、CTB→WTBとタイミングよくパスが通り、左中間にWTB角田が先制の、そして新チームとしての初トライを挙げ、ゴールも成功し(7-0)と幸先の良いスタートを切りました。

続く7分には、敵陣ゴール前ペナルティからFWが1回縦を突いた後左に展開、WTB角田が切れ味の良いステップを踏み、先ほどとほぼ同じ位置に連続トライ。ゴール成功(14-0)とリードを広げます。

FWの体格に勝る太田一高は、FWの突破に活路を見出そうとしますが、日立一高の思い切りよく前が出るディフェンスに阻まれ、またハイタックルにより連続してペナライズされるなどリズムが崩れてペースが掴めず、攻撃も単調になりがちです。

一方の日立一高は12分にFB笹森、15分にはSO井町が個人技を生かしてトライを奪い、いずれもゴール成功し、28-0と更にリードを広げます。

試合前、日立一高は、経験不足によるFWのセットプレーの安定とBKのラインディフェンスに不安を抱いていましたが、ゲームの入り良かったこともあり、先に試合の主導権を握れたことによって不安が払しょくされ、前半から安定した試合運びとなりました。

ただ、前半の終盤から、密集でのオフサイドやノットロールアウェイなどの細かな、そして不注意によ

る反則がやや多くなり、更には日立一高のキックチェイス時のオフサイドが厳しくペナライズされはじめ、一抹の不安を抱かせました。

スコア的には、23分には自陣ラックでのターンオーバーからCTB菊池が自陣から走り切り、28分にも相手ボールラインアウトのこぼれ球を拾って左右に展開してWTB角田がトライを奪い、ともにゴール成功し(42-0)と試合を決定付ける点差となりました。

前半の終了間際、自陣での敵ボールラインアウトモールから、一旦は押し返しましたがその後粘られ、ペナルティからの密集サイドを突かれトライを喫し、(42-5)でハーフタイム。この辺りは、経験不足もあり、やや淡白なディフェンスとなりました。

後半に入ると、太田一高もFWを中心に激しい闘志を見せ、また日立一高も攻守がやや雑になり、一進一退の膠着状態が続きました。それでも、常に敵陣でゲームを進める日立一高は、後半8分、敵陣でのハードタックルなどで相手方TBのパスの乱れを誘い、こぼれ球を拾ったWTB角田がインゴールまで走り

切ってトライ、ゴール成功(49-5)。14分にも相手陣ラックでのターンオーバーから、この日5本目のトライをWTB角田が決め、ゴール成功(56-5)とペースを取り戻します。

後半20分には、自陣でのラックから、FB笹森が個人技でインゴールまで走り切りトライ、ゴール成功して(63-5)

26分には、敵陣ゴール前のペナルティから、1年生プロップ鈴木(大)がインゴールに飛び込みトライ、ゴール成功(70-5)

30分には、ラストワンプレイでの敵陣ラインアウトから中央付近でラック、ブラインドサイドから良い角度で切り込んだWTB田所がトライ、右中間からの難しい角度のコンバージョンゴールを、この日初めてFB笹森が外し、(75-5)となったところでノーサイド。

前後半を通して、日立一高はFW・BKとも豊富な運動量で常にブレイクダウンで先手を取り、タックルミスが生じて粘り強くパッキングアップし、何度もディフェンスからチャンスを産み出しました。そして、新1年生5人を含めた布陣としては、上々の試合結果となりました。

この成果を自信として今後にかし、いくつか見られたロスやミスを軌道修正していければ、更に次のステップも見えてくることと思います。

本日、ご多忙の中を多数応援に来てくださった、父母の皆さん、そしてOB・関係者の皆さん、ありがとうございました。

今後の日立一高の可能性に大きく期待するとともに、総力を挙げて支援していきましょう！！